

よこはまユースレター

つながる拠点

—コロナ禍における
横浜市青少年育成センターの新たな取り組み—



■オンライン活動の拠点

コロナ禍になり、青少年育成センターではオンライン環境の整備に取り組み、地下1階と2階の全てのフロアでWi-Fiが使用できるようになりました。部屋ごとに250台までアクセス可能な無線ルーターを設置してあるため、ZOOMなどのオンライン会議や動画視聴の活動もスムーズです。



会場とオンラインとのハイブリッド研修

さらに、オンライン用の機材も充実しており、青少年や育成団体には無料(一般団体は有料)で貸し出しています。「セッティングがわからない」という方でもご安心ください!活動に合わせたセッティングを職員と一緒に考えサポートします。

オンライン配信からハイブリッド型の研修会まで、幅広いオンライン活動をサポートします。大変そうと諦めずに、育成センターにご相談ください。

■新しい視点の活動

現在、オンラインを活用した研修・講座や団体交流会などを積極的に展開しています。その中でも、「コロナ禍でもできる活動を」という視点で展開している「オンラインボランティア」や、「他都市青少年施設のオンライン見学会」は新鮮です。

コロナ禍で学生は外出が減り、地域との関わりも少なくなっています。オンラインによる地域活動の取材や活動の配信を行うボランティア活動を呼び掛けると20人近くの学生が集まりました。現在、横浜市内の地域活動を取材し、ウェブサイト「note」で配信しています。また、「オンライン見学会」は、直接施設に行けない状況でも、見学先とオンラインで繋がりWEBカメラを通した施設案内や職員との意見交換を行っています。



大学生世代によるオンラインボランティア活動

コロナ禍になって1年以上経ちますが、みなさんの生活や行動のスタイルは変化しましたか?

「新しい生活様式」が推奨され、マスク着用や3密回避、在宅勤務、テイクアウトなどが定着し始めています。特にオンラインを活用した活動は、青少年育成団体の間でも活発になってきています。今号では、横浜市青少年育成センターが取り組む、「新たな『つながる』カタチ」についてご紹介します。



■新たな「つながる」カタチ

直接人と会うことなど“リアル”な体験は、青少年を育むにはとても大切なことです。しかし、オンラインを活用した活動は、これまで以上に多様な活動や人とつながる可能性を広げてくれます。他都市の青少年施設では利用者の学生とフランスにある青少年センターの学生とが定期的に交流会を開催しているそうです。

これまで不可能だと思った活動も、工夫次第では可能になる時代がやってきます。皆さんと一緒に、新しい「つながる」カタチを探していきたいと思います。

【お問合せ】
横浜市青少年育成センター
TEL:045-664-6251



育成センター
Twitter



育成センター
note

青少年育成寄附金募集事業

第60回 爆笑!濱っ子寄席

「笑ってヨコハマの青少年育成」がテーマの濱っ子寄席。大変な時期ですが、皆さんに笑顔をお届けしたいと思います。お楽しみに!

【出演(予定)】

柳家権太楼・柳家喬太郎・春風亭一之輔・おぼん・こぼん
東京ボーイズ 他

■日時: 11月19日(金)18時~

■会場: 関内ホール 大ホール

■料金: 1階席 3,500円
2階席 3,000円
(全席指定)

■チケット予約・販売:

10月4日(月)9時~

TEL:045-662-3716 (よこはまユース総務課)



※自治体の感性対策ガイドラインに従って実施します。
新型コロナウイルスの状況により内容等が変更になる場合があります。詳しくはHPをご覧ください。

活動レポート

○ 横浜市野島青少年研修センター

青少年ボランティア、『のじボラ』ビブスを作る！



話があがったことから企画しました。

試行錯誤しながら色やデザインを考え、7月の活動でお披露目することができました。今後もイベントなどで着用し、活動をアピールできればと考えています。

野島青少年研修センターでは、青少年ボランティア『のじボラ』が活動しています。

月1回のオンライン定例会議で「活動が再開したら、みんなで着られるユニフォームがあるといいな」という

○ 放課後キッズクラブ

『夏休みを楽しんでいます！』

(日吉南小学校キッズ／寺尾小キッズ)

いつもとは違う夏休み2回目。感染症対策をしながら、子どもたちが楽しめるプログラムに取り組んでいます。日吉南小学校放課後キッズクラブでは、1月の発表会を目指してチアリーディングを練習しています。参加した児童は「踊るのが難しい」「ポンポンがかわいい」という感想がありました。

また、夏といえば水遊び！寺尾小学校放課後キッズクラブでは水にはしゃぐ子どもたちの笑顔に癒されています。



○ よこはまユース（本部事業）

プレイパークを活用したプロジェクトを実施しました！

SC ジョンソン株式会社より助成金をいただき、横浜にプレイパークを創ろうネットワーク (YPCN) と協働した「社会的孤立と児童虐待防止プロジェクト」を実施しました。

プレイパークは、子どもが自由に遊べる野外の遊び場です。木登り・泥遊び・水遊び・焚火など、気持ちの赴くまま、挑戦できるよう取り組んでいます。



本プロジェクトでは5～7月の間、子育て世代をはじめ孤立しがちな地域の人を対象に、23カ所のプレイパークにおいて、身近な遊び場を活用した相談や地域とのつながりづくりに取り組みました。年内に、成果をまとめた報告書を発行予定です。

○ 青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

青少年委員による『月刊 さくらリビング』発刊！

「会議・イベントで必ず1人1回活躍できる場を作る！」を目標に、今年度の青少年委員会は始まりました。個性豊かなメンバーが、互いを受け入れ尊重し合う良いチームです。



年2回の主催イベントに加え、機関紙『月刊 さくらリビング』を発行しています。毎回ユニークなテーマに沿って、青少年目線の感想や意見が綴られており、委員の多彩さやユーモアが感じられる紙面です。また、委員が調査した、さくらリビングに関する“かなりニッチな”豆知識を知ることができます。「さくらリビマスターになろう！」のコーナーにもご注目ください。バックナンバー含め、ツイッター (@sakura_living) やHP、館内掲示でお読みいただけます。



ありがとうございました！

寄附金協力者（順不同、敬称略）

【団体】

旭区子ども会育成連絡協議会/横浜市立井土ヶ谷小学PTA/(株)大向/菓子工業組合横浜中央支部/神奈川区青少年指導員協議会/京浜サービス(株)/コーエ・アンダンテ/JX-ENEOS 野球部OB会事務局/柴町内会/(株)杉浦商事/(有)武牛乳店/鶴見区子ども育成会連絡協議会/特定非営利活動法人ともに浜をつくる会/日本作法会/野町内会/馬車道商店街協同組合/扶桑電機(株)/ブックオフオンライン/ボイスカウト横浜市連合会/(株)横浜アーチスト/社会福祉法人横浜共生会/横浜市健民少年団/横浜市子ども会連絡協議会/横浜市退職小学校長会/横浜市PTA連絡協議会/横浜商工会議所(株)横浜スタジアム/特定非営利活動法人よこはまチャイルドライン/横浜みなとみらいライオンズクラブ/横浜野球連盟/(有)横濱ランパート協会

【個人】

青山幸一/荒井総平/新井春海/荒巻喜代子/荒巻芳幸/飯塚道子/池田ふみ子/石塚昇/稻垣公明/大塚善一郎/井上孝夫/入江ゆきよ/岩崎紀夫/岩澤幹夫/内野貴彦/榎本文夫/大石俊雄/大久保皓司/沖津淑子/笠原光子/片岡喜久江/加藤輝代/賀谷まゆみ/川ノ邊直樹/木藤紘次/桐原重孝/工藤春治/久保田惺/雲井耀一/佐藤雅亮/篠崎浩子/下野坊和子/鈴木千代江/須藤守之/竹内利恵/武久美子/田邊義勝/田上恭孝/俵節子/出口晴基/手塚潤悟/中村輝次/中山里美/野村啓子/橋本康正/濱倉公子/原田享子/日比野政芳/古澤竜夫/松田利恵/松本清江/眞鍋明文/三井巧/三橋赫夫/三橋ツネ/山本亜紀子/若木一美

【後記】昔ながらの銭湯が姿を消す一方で、日帰り温泉施設がずいぶん増えたなと感じます。

かくいう私も、温泉施設で露天風呂につかり、マッサージを受けるのが月に1度？の密かな楽しみ。

日頃の疲れを癒しています。(まっきー)